

# 消費税増税、改憲に執念、「自己責任」おしつけ

16日の臨時国会本会議で、菅義偉氏（自民党総裁）が新総理大臣に選ばれ、自民・公明両党連立による菅内閣が発足しました。政治モラル、新型コロナウイルス対応などで行き詰まった「安倍政治」の継承を掲げる菅内閣は、閣僚、党役員など人事面でも安倍政治の継承が際立つ顔ぶれです。

菅首相は、これまでの会見などで、安倍政権を「継承」する立場を繰り返し、目指す社会像について、「自助・共助・公助、そして絆」「まずは自分でできることは自分で」などと「自己責任」を強調、「政治の責任放棄」と批判の声があがっています。

安倍晋三前首相が固執した「改憲」について、菅氏は「まず憲法審査会を動かしてそこで議論して改憲に向けて国民の雰囲気を高めていくことも大事」と、改憲に執念を見せています。

## 疑惑の再調査否定

「国政の私物化」と批判が集中した安倍前首相の「森友学園」「加計学園」「桜を見る会」の疑惑の対応について、菅氏は説明をすることで再調査を否定し、「疑惑隠し」をつづける立場です。

## 沖縄で強権ぶり発揮

●公文書改ざん、隠ぺい・ねつ造、廃棄など、官僚の「忬度」政治を官邸で主導してきました。●違法な賭博の「Rカジノ」を推進。

●新型コロナウイルス感染防止に逆行する「GOTOトラベル」をゴリ押し。

●沖縄県民の反対世論を無視し辺野古への新基地建設を押しつけ、反対運動に参加する市民を警察を使って排除するなど強権ぶりを発揮しています。

●選挙違反の買収容疑で逮捕・起訴された河井克行・元法相夫妻を熱心に応援、その責任は重大です。

## 10日のテレビ番組

「消費税は引き上げざるを得ない」

国民の批判の広がりや翌11日の会見で、今後10年は不要と慌てて軌道修正、発言撤回なし。

「アベノミクス」の継承「見直すべきだ」58・9%

安倍首相の改憲姿勢を「引き継ぐ必要はない」57・9%

（共同通信社 8、9日の世論調査）

## 「安倍政治」の「負の遺産」一掃で

# 新しい政治への転換を

# 日本共産党

### 総選挙で政権交代へ 市民と野党の共闘推進

日本共産党は16日の臨時国会の首班指名選挙で、新・立憲民主党の協力要請に応じ、野党共闘を推進する立場から、同党の枝野幸男代表に投票しました。

日本共産党は、菅体制と対峙し、きたるべき総選挙で「安倍政治」の安部法制、消費税増税強行など「負の遺産」を一掃するとともに、規制緩和、社会保障切り捨て、自己責任押しつけの新自由主義を終わりにし、「暮らしを良くする」責任を果たす新しい政治をつくるために市民と野党の共闘をひろげ、政治転換へ全力でたたかいます。

PCR検査の拡充、医療機関への財政支援など新型コロナウイルス対策に力を入れ、立憲主義・民主主義の回復、消費税率5%への減税など国民の暮らし応援を第一に掲げ、多様性を尊重し個人の尊厳を守り抜く政治を実現するために力をつくします。

衆院比例南関東  
神奈川・千葉・山梨3県

志位 和夫  
党委員長  
衆議院議員



はたの君枝  
衆議院議員（小選挙区神奈川10区）



さいとう和子  
元衆議院議員



沼上とくみつ  
元茅ヶ崎市議



2020年9月号外 日本共産党の見解を紹介します。